

海辺の修学旅行プラン

対象：小5～小6 国語 × 算数 × 理科 × 社会

名前：

進め方 ①条件を見つける → ②数で確かめる → ③根拠を組み合わせて判断する

文章を読もう

さくら小学校の6年生72人と先生6人は、海辺の町へ修学旅行に行きます。移動には、運転手を除いて40人まで乗れるバスを2台使います。午前中は町の歴史資料館を見学します。入館料は児童1人450円、先生1人700円で、50人以上の団体は合計金額から10%引きになります。学校が用意した入館料の予算は33,000円です。

午後は干潟で生き物を観察します。その日の干潮は午後1時50分で、安全に観察できる時間は午後1時20分から2時20分までです。コースAは資料館を午前11時50分に出て、昼食後、午後1時35分に干潟へ着きます。コースBは商店街の見学を加えるため、干潟への到着が午後2時35分になります。

干潟へ向かう海辺の橋は、平均風速が15m/s以上になると通行止めです。当日の予報は12m/sです。先生は、観察時間・入館料・バスの定員・橋の安全条件をすべて満たすコースを選ぶよう実行委員に伝えました。なお、昼食代はすでに支払い済みで、今回の予算には含めません。

STEP 1 国語 × 理科 × 社会

干潟を安全に観察できるのは、コースA・Bのどちらですか。到着時刻と観察可能時間を使って説明しましょう。

STEP 2 算数

歴史資料館の入館料は、団体割引後に全部でいくらですか。児童・先生の料金を分けて計算しましょう。
式：

STEP 3 国語 × 算数 × 理科 × 社会

コースAは実行できますか。STEP 1・2に加え、バスの定員と風速の条件を使い、70～100字で説明しましょう。

海辺の修学旅行プラン

答え・考え方

対象：小5～小6 国語 × 算数 × 理科 × 社会

答えだけでなく、「どの情報を使ったか」まで確認しましょう。

STEP 1 観察できるコースを選ぶ

答え：コースA

安全に観察できるのは午後1時20分～2時20分です。Aは1時35分に着くので時間内ですが、Bの2時35分は時間外です。

採点のポイント： 到着時刻を観察可能時間の範囲と比べます。

STEP 2 団体割引後の入館料を求める

児童： $72 \times 450 = 32,400$ 円

先生： $6 \times 700 = 4,200$ 円

割引前： $32,400 + 4,200 = 36,600$ 円

団体割引後： $36,600 \times 0.9 = 32,940$ 円 答え：32,940円

採点のポイント： 10%引きは、元の金額の90%を支払うことです。

STEP 3 旅行プランを判断する

判断：コースAは、与えられた条件では実行できます。

解答例：Aは観察時間内に着き、入館料32,940円は予算内である。78人は定員40人のバス2台に乗れ、予報12m/sは橋の通行止め基準未満なので実行できる。

採点のポイント： 観察時刻・予算・定員・風速の4条件を確認します。

考え方の流れ

時刻条件 → 料金と割引 → 予算比較 → 交通の定員 → 天候条件 → 実行判断